

2020年 1月 28日

研究へのご協力のお願い

東京医科大学総合診療医学分野、医学教育推進センター、医学教育学分野では、下記の研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては医学科学生の新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように学生のプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に試験成績を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

医師として具有すべき技能・態度の評価の信頼性向上に関する研究

－学生の評価の解析－

[研究の背景と目的]

我が国の医師国家試験では知識のみが測定されています。一方、技能や態度を模擬的な設定で評価する客観的臨床能力試験(OSCE)が多くの大学で卒業判定に用いられています。共用試験実施評価機構(CATO)では2020年度から臨床実習終了後OSCE(Post-CC OSCE)を全ての医学部で共用試験として行う予定であり、2017年度からそのトライアルが開始されています。本学ではトライアルの段階から全国に先駆けて課題数を増やしてPost-CC OSCEを実施してきました。その評価者には専門外を含む多くの教員の参加が必要でした。評価者による差が少ない信頼性の高い全国規模の試験を行うことを目指してCATOで試験成績の検討が行われています。しかし、実際に試験を行った現場の教員からの意見も反映する必要があり、課題数を増やして実施した本学での経験は実施上の問題点の把握と解決に貢献できると期待されます。そこで、1)成績の解析と評価者への調査を行い、それを踏まえて評価者講習会を行い、2)その成果を次年度の学生の成績などから検証します。我が国の医師の資格認定において、技能や態度の評価の標準化が必要であり、その評価の信頼性を高めるのがこの研究の目的です。

[研究の方法]

●対象となる方

2019年度に本学の卒業時OSCEを受験した全ての医学科6年生

●研究期間

2020年 1月 28日から2022年 3月 31日

●利用する情報

2019 年度に行われる卒業時 OSCE の成績

●情報の管理

管理責任者が総合診療医学分野か医学教育推進センター内だけで管理します。

外部に情報を送り解析を行う場合は、氏名を外した状況で依頼し、守秘義務契約書を交わします。

[研究組織]

●研究代表者:総合診療医学分野 原田 芳巳

●分担研究者:総合診療医学分野 平山 陽示、医学教育推進センター 窪田 裕紀、山科 章、医学教育学分野 三苫 博、大滝 純司

[個人情報の取扱い]

●試験成績は氏名に関する情報を外して検討します。

●管理責任者は原田芳巳です。総合診療医学分野および医学教育推進センター内だけで管理します。

[問い合わせ先]

東京医科大学総合診療医学分野

原田 芳巳

電話:03-3342-6111 内線 2151 Eメール:yharada@tokyo-med.ac.jp